

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 1月20日更新

事務事業名	アニメ・マンガを活かした地域活性化事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	政策課	担当者名	高来登
	施策の柱	40	企業誘致の促進			所属班	政策班	(内線)	1236
予算科目	会計一般	款2	項1	目9	事業連番11586	根拠法令	成果優先度評価結果		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	当市の総合計画の中にある「雇用機会の創出」「人材育成」の観点から、本市及び熊本県に眠っている多数の若手コンテンツクリエイターの卵を発掘し、磨き上げを、創業育成塾を通じてクリエイターの自立、創業、就労支援を実施する。実施については、産官学金労言で構成する組織を立ち上げ方向性や実施案について審議・検討をする。基本目標として、地方での創業、就職支援を行い定住促進に努める。更には市外からの移住も視野に入れ、地域産業の活性化寄与する。事業終了後も、創業の実現、雇用の創出、経営指導等を各専門家により実施していく。
【業務の流れ】	業務について生涯学習課へ事業移行
【主な予算費目】	
【意見や要望】	・農業の遊休地・後継者問題更には雇用問題の解消を行うことは市の責務でもあり、市長マニフェストでは、この対策としてアニメ文化を活かした(例えば、デジタルコンテンツ産業の誘致、原画家の育成等)取り組みとして掲げている。 ・全国では、マンガ・アニメ文化によるまちづくりに取り組んでいる自治体が増えている。県議会及び本市を含む近隣市議会においてもマンガ・アニメによるまちづくりに関して一般質問が行なわれ関心が高まっている。 ・包括連携協定を締結している熊本高等専門学校からはぜひこの事業により、同校の人的資源を活かすと共に、新たな施設ICTセンターを利用した地域貢献を行いたいとの意見が寄せられている。合志市出身の漫画家を活かしたまちづくりを求めた声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	響創塾で制作された作品を市民へ周知を行う。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 熊本こうし響創塾の運営支援
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位):	予算の主な増減の理由
⇒		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・アニメ・マンガコンテンツクリエイターを志望する人 ・クリエイターを育成する場所	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
⇒		
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・クリエイターとして育成する ・クリエイター育成の拠点として環境を整備する	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
⇒		
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 企業誘致に伴う雇用創出		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	見込
①活動指標	ア									
	イ									
②対象指標	ア									
	イ									
③成果指標	ア									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円							
		(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	0	0	0	0	0	0	0		
(B)人件費計	千円	0	0	0	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0		

事務事業名	アニメ・マンガを活かした地域活性化事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 平成27年度より生涯学習課へ事業移行	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成27年度より生涯学習課へ事業移行	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 創業育成塾へ参加する塾生の技術向上を図るため、成果の向上の余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 市の予算は使用していない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の人数で実施しているため削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 今回の事業は市民募集による取り組みであり、将来的に企業誘致へと繋ぐ政策として実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 将来的にコンテンツ企業の誘致を目的にしているため行政の責務である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

【前年度内容】事業PRシンポジウムや創業育成塾の事業計画を行った。今後創業支援、就業のための資金計画やマーケティング戦略等を行い雇用創出へ繋げる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					